

2013.3月

品質月報

Monthly Quality Report

3号 INDEX

3号 INDEX

PAGE 3 ……品質方針

PAGE 4 ……今月のトピックス

★ 今月のテーマは…
「リンゲルマン効果と品質管理」

PAGE 5 ……市場不良率推移

市場不良率推移

PAGE 6 ……品質状況詳細

市場不良発生状況(工程別、客先別)

PAGE 7 ……品質状況詳細

クレーム発生状況(クレーム発生推移、客先別)



SANSHIN GROUP



品質方針

サンシングループは、商社・開発技術・要素技術 これら3つの機能のシナジー効果と品質マネジメントシステムの効率的な運用により、お客様のニーズを満たす製品開発と安定的な製品供給をおこない、電機業界および社会へ貢献して参ります。

1. 事業活動において、いかなる場合も品質マネジメントシステムを厳守し、お客様に信頼される品質の提供につとめて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遂行を通し品質の向上につとめて参ります。
3. 各々のグループ会社および事業部において、事業活動に応じた品質マネジメントシステムの継続的な改善につとめて参ります。
4. 品質マネジメントシステムは、定期的な内部監査・マネジメントレビューをおこない、実態に沿った具体的な改善をはかって参ります。
5. この方針は文書化し、当グループのステークホルダーに対して開示をおこない、当グループの諸活動に関わるすべての人々によって一步一步、着実に具現化して参ります。

平成18年7月1日
サンシングループ
代表 石井宏宗



石井宏宗

今月のトピックス

「リンゲルマン効果と品質管理」

今回は2012年10月27日の品質管理研究所の記事からです。

■ リンゲルマン効果

ドイツの心理学者リンゲルマンさんは、およそ100年前にこんな実験をしました。

綱を引っ張るときに、一人で引っ張るとき、二人で引っ張るとき、・・・人数をふやしていくと、発揮される力がどのように増えていくか。

参加する人数を一人から二人、二人から三人、八人までふやしていくと、人数が増えていくほど、期待される力は十分に発揮されず、ひとりあたりの貢献度が低下する現象(リンゲルマン効果)がおきてしまったというのです。



誰かがやってくれるはずと感ずるような環境では、気づかぬうちに気を緩めてしまいやすいものです。

組織をかたちづくるのも、ヒトです。

取引する部材の品質管理上、かかわる組織やヒトがふえればふえるほど、お互いにどのようなサポートをするのが効果的か、どんな役割をはたすべきか不明確になりやすいものです。

各組織の品質向上へのサポートや事後のフォローの仕方は、目に見える具体的な活動項目になっているでしょうか。

単に管理する側と管理される側のような関係ではなく、サポートする側と期待にこたえる側といった相互発展できる良い関係性を構築する機会を生み出しているでしょうか。

目先の品質にとらわれるばかりでなく、モノを作る組織と人の関係性に着目して、品質を良くする関係や場を創造してきたいものです。

ひとつの製品をつくる上で、世界中のさまざまな部材が使われます。

- ・どこの国で、どんなヒトが、どのようにしてつくった部材でしょうか。
- ・ひとつの部材が出来上がるまでに、どれだけの企業やヒトと何回もやりとりしているでしょうか。
- ・納入される製品がどのようなヒトや企業のつながりで出来上がっていくか、どれくらい把握できているでしょうか。

品質管理というと、お客さんに提供する『ものの品質』に目がいきますが、だれとつくっているか、だれが関わっているかという『組織間の関係』にも注目することが大切です。

どんなヒトと組織がモノを作るかによって、製品の品質を管理するポイントも変わります。



自分で自分の仕事にラインを引いてしまい、「ここから先は、あいつの仕事」と引き継ぎや連絡もせず、自分で勝手に線を引いてしまう。

これは品質管理だけに言える事では有りませんが、自分にもあてはまることで、十分に気を付ける様にしたいと思います。

この業務は、自分の仕事ではない、あれは、あの人の仕事、あの部門の仕事という感覚がつよくなると、他人のようになってしまい、仕事もミスが多くなります。

日頃からのコミュニケーションをより多くとり、どのような場面でも対応していきたいと思えます。(品証 林)

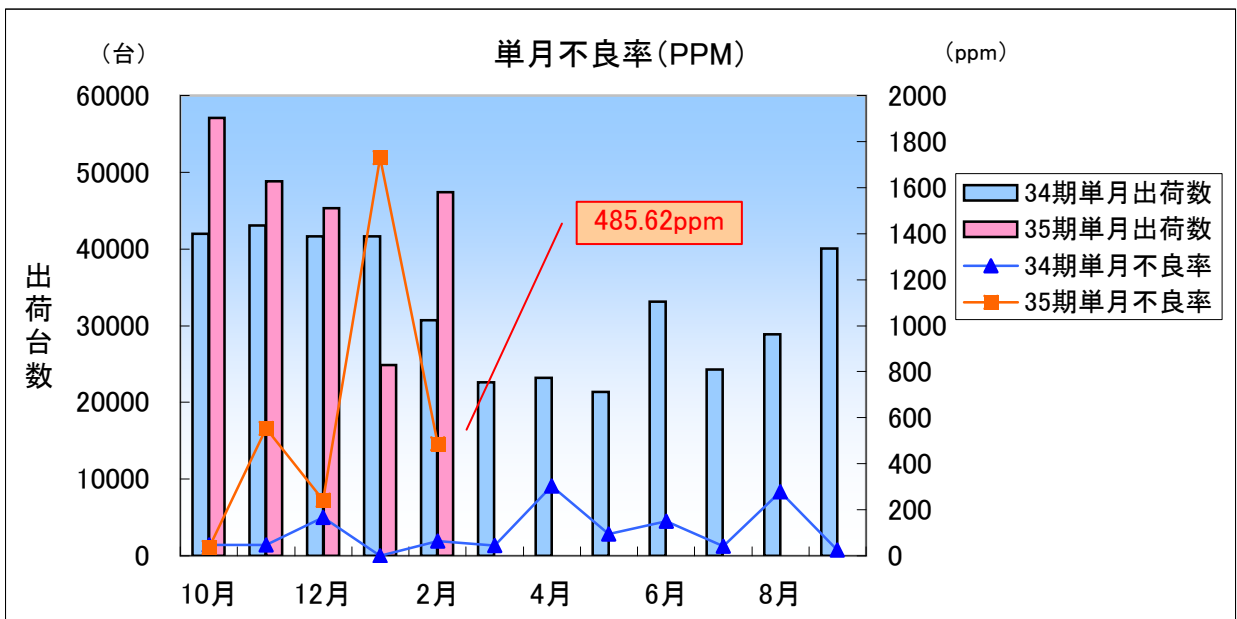
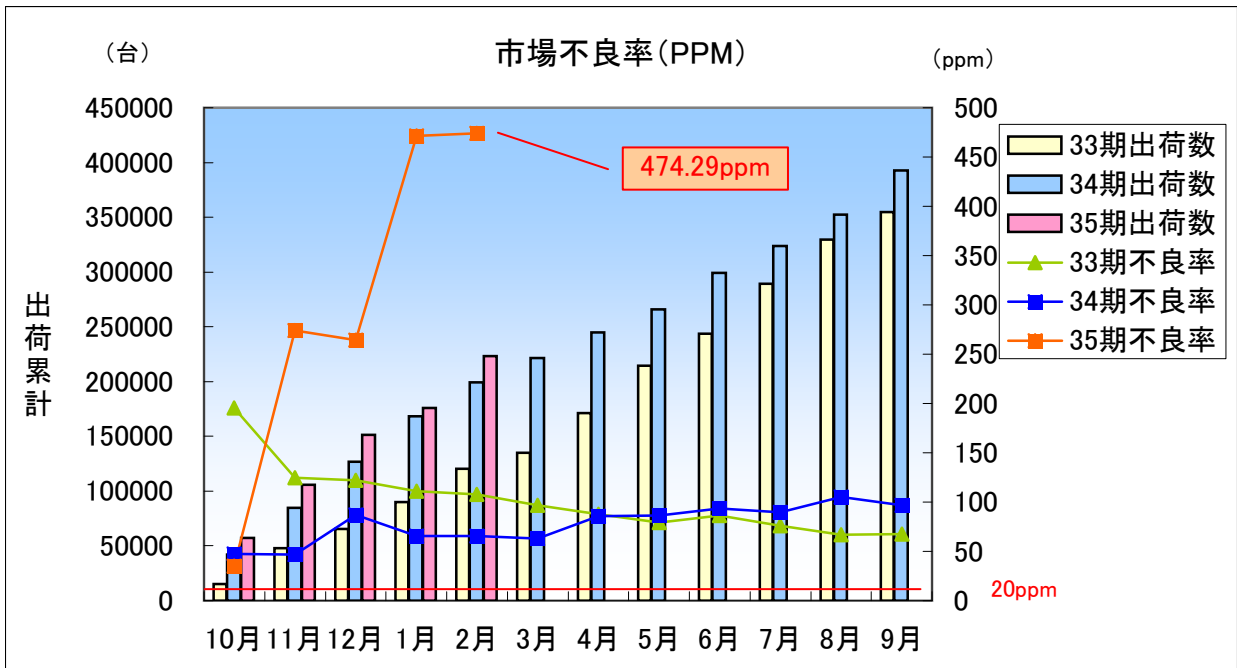
今月の品質状況

35期の旗印

納入不良率 目標.....20ppm

35期の累計不良率は**474.29ppm**です。

2月の単月不良数は23件、同一部品不良の異常発生が先々月から継続して発生。問題の部品不良の原因がほぼ判明したことにより、今後発生が少しずつ減少してくると思われます。

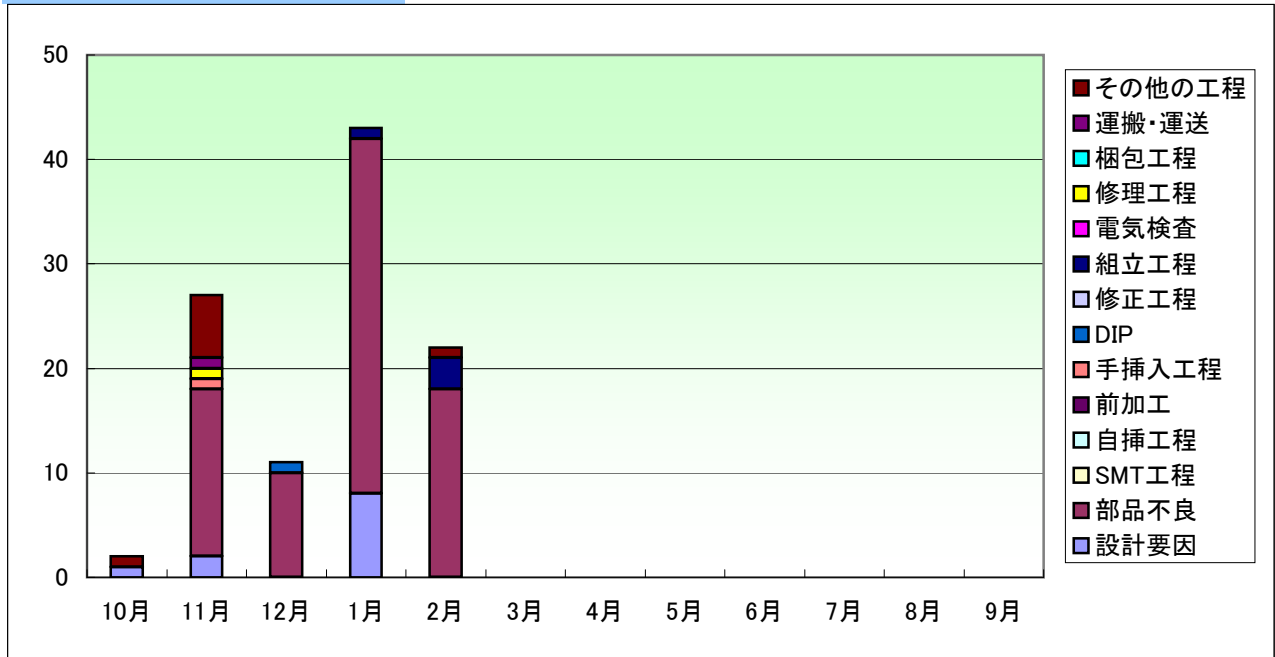


2月は単月不良発生率は**485.62ppm**です。
部品不良の発生は減少しましたが、全体の不良率を下げるほどではなく、単月不良率も引き続き高い値を示しています。部品スクリーニングによる撲滅を期待している状態です。

品質状況詳細

原因別、並びに工程別市場不良発生状況

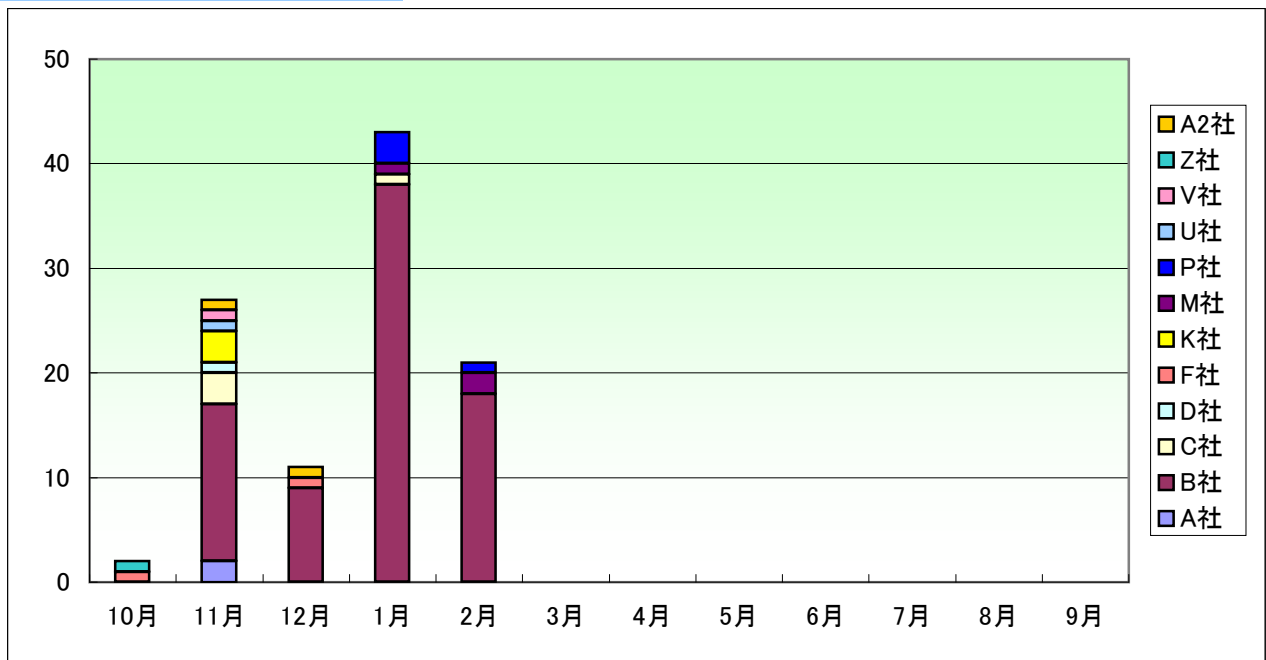
工程別不具合



2月の工程別不具合

部品不良 20件、製造不良 2件、その他 1件 です。
 部品不良が極端に目立っていますが、製造不良も発生していることを忘れてはいけません。
 不良率の算出方法の変更も検討中です。

客先別不具合



客先別累計不良発生率

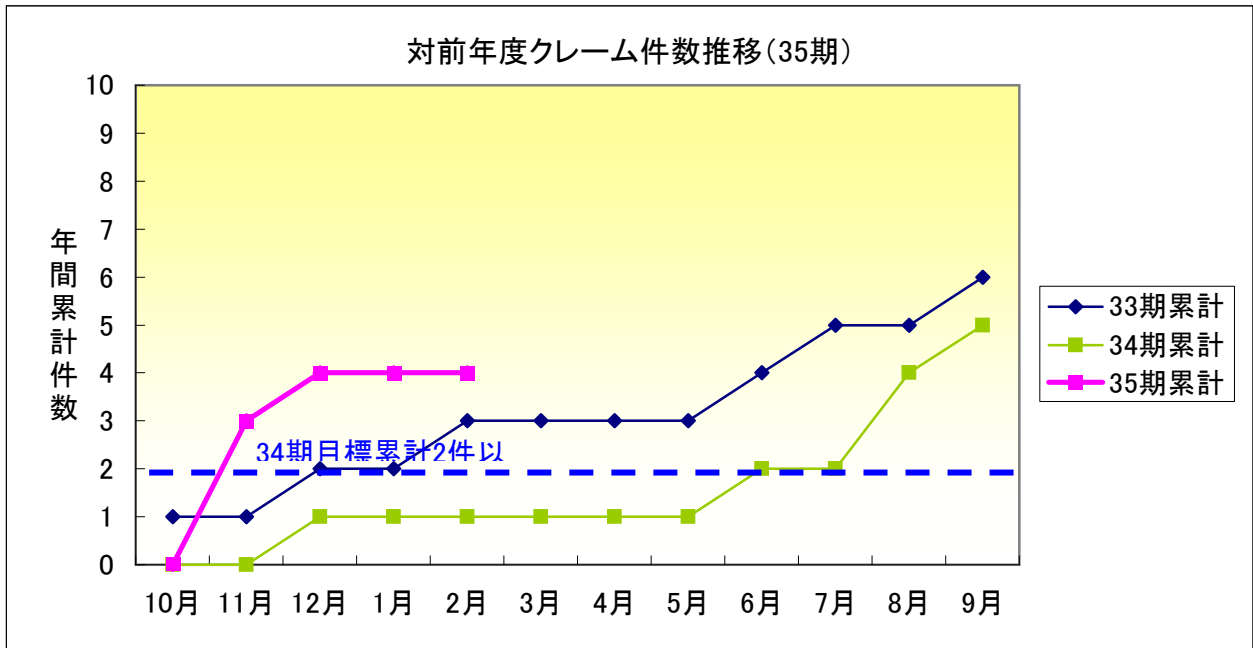
B社 80件/30,100台 (2658ppm) となっており、先月より少しさがりました。
 これは問題の機種が終了し、新機種に切り替わったためです。

品質状況詳細

クレーム発生状況

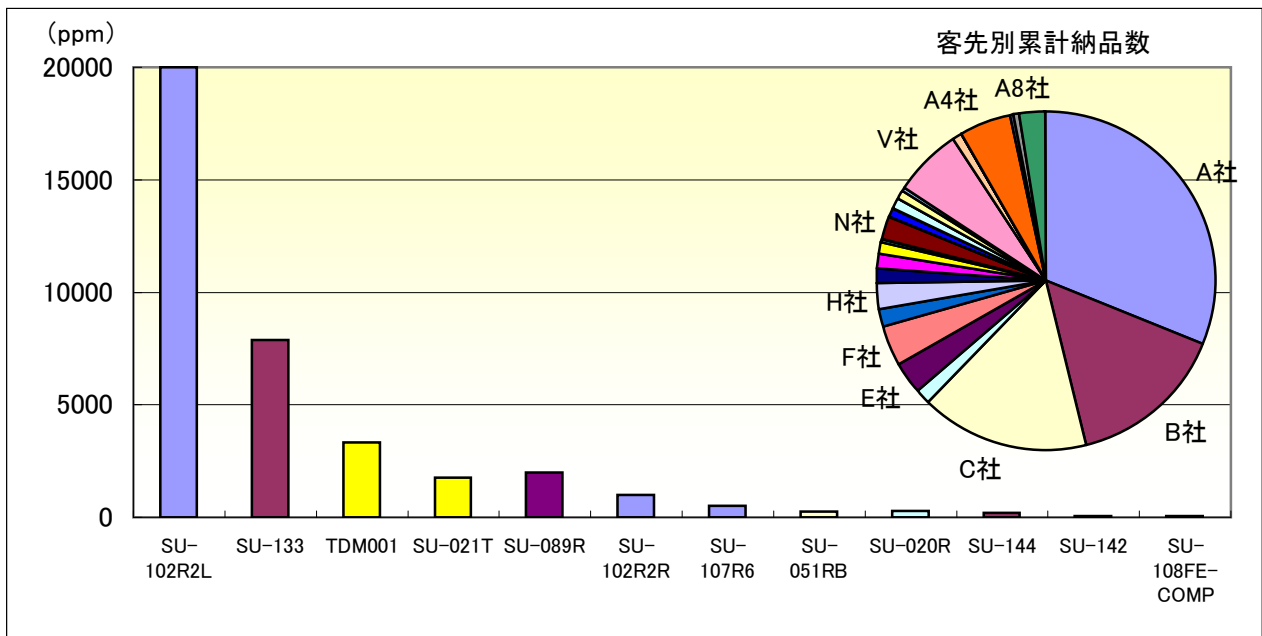
クレーム発生推移

「クレーム」の定義: 当社製品がエンドユーザー様にて使用中に
当社の責任による原因で不具合が発生し、見直し・改修の場合



2月の不良はクレーム不良としては対象になりませんでした。

機種別累計不良率



機種別累計不良率(主な機種不良率)

SU-102R2L (P社)	3件/150台 (20000ppm)	SU-107R6 (C社)	1件/2,000台 (500ppm)
SU-133 (B社)	79件/10,020台 (7884ppm)	SU-051RB (F社)	1件/4,000台 (250ppm)
TDM001 (D社)	1件/300台 (3333ppm)	SU-020R (F社)	1件/3,508台 (285ppm)
SU-021T (A社)	2件/1,130台 (1770ppm)	SU-144 (V社)	1件/5,000台 (200ppm)
SU-089R (U社)	1件/500台 (2000ppm)	SU-142 (B社)	1件/20,080台 (50ppm)
SU-102R2R (P社)	1件/1,000台 (1000ppm)	SU-108FE-COMP (C社)	1件/19,175台 (52ppm)